

豊見城市立中央公民館 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

企業名 豊見城市教育委員会 豊見城市立中央公民館
(業種) 劇場・演芸場、集会・展示施設、多目的ホール
代表者名 豊見城市立中央公民館長 玉城 善哲

1. 基本チェックリスト

- 従業員の就業前の体温測定
- 従業員の手指消毒の徹底
- 従業員のマスクの着用
- 入口及び施設内の手指の消毒設備の設置
- 入場者に対するマスク着用お願いの周知

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染症防止のための入場者整理の方法

①密にならないための対策

- ・ 館内が混雑しないよう、必要に応じて入館制限を実施する。

【共通】

- ・ 各ホール、会議室等の収容人数の半数未満を当該借用室の入室許可人数とする。(例)大ホール収容人数=786人、入室許可人数=393人未満

- ・ 来客が並ぶ場合、2m程度の間隔を空けるよう床にテープを貼り誘導する。

②発熱等の症状のある方の入場制限方法

- ・ 発熱や咳、頭痛等の症状がある方については、原則として入館をお断りする。

③その他

- ・ 必要に応じて利用者に対し、体温計の設置を求め、計測するよう協力を求める。

(2) 対人距離の確保の方法

①接触感染対策

- ・ 席は対面にならないよう配置を工夫し、隣同士の間隔も可能な限り広くする。

【共通】

- ・ 利用者に対し、ロビー等の共有スペースの滞在を必要最小限にするよう求める。

【大ホール、中ホール】

- ・ 入場者数の制限や客席の間隔を数席ずつ空ける等、対人距離を確保する。

- ・ 複数の人が触れる場所や使用後の設備等は、こまめに清拭消毒等を行う。

【共通】

- ・ 公民館管理委託業者にて清拭消毒等の対応を行う。

- ・ 利用者に対して、ゴミを持ち帰るよう促す。
- ・ 他人と共有する物品は可能な限り少なくし、割り箸やコップ等を常時テーブルに置くことを中止する。

②飛沫感染対策

- ・ 大声での発声、歌唱や声援、又は隣接した距離での会話を原則行わないよう利

用者に求める。

- ・ 席が対面となる場合、透明ビニールカーテン等で遮蔽するよう求める。
- ・ 料理は原則として大皿での提供は行わず個別に分けて配膳するよう求める。

(3) 施設の換気対策

- ・ 空調設備を稼働等、適切な空調換気を行う。

【大ホール、中ホール】

- ・ 空調設備をフル稼働し、全出入口を常時開放する。

【会議室等】

- ・ 空調設備をフル稼働し、窓を常時開放(雨天時を除く。)する。

(4) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・ 複数の人が触れる場所は適宜消毒を行い、テーブル、ドアノブなどの高頻度に接触する箇所は、特に注意して消毒を行う。
- ・ 公民館全体の消毒は1日1回のペースで実施する。

【共通】

- ・ 公民館管理委託業者にて清拭消毒等の対応を行う。

(5) その他基本的な感染拡大予防策

- ・ 催事主催者に対し、基本的な感染予防策のほか、催事の特性に応じた感染予防策を講じるよう求める。
- ・ 催事主催者に対し、万が一感染が発生した場合に備え、参加者を追跡できるような仕組みによる催事の案内及び開催を行うよう求める。この場合において、個人情報情報の取扱いは、法令を遵守するとともに名簿等の適正な管理を徹底するよう求める。
- ・ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう、表示する。